

薩摩地球人教育

公益社団法人生命科学振興会 九州支部長
鹿児島城西ロータリークラブ会員 納 利一
鹿児島市医師会中洲支部会員

調和が明日をひらくキーワード。
人間・社会・自然の調和のために。
家族は調和合流永続家族でありますように。
社会は地球調和社会でありますように。人間社会自然地球宇宙の健康調和永続のために。
以下は甲南保健クラブのホームページ「甲突川健康新聞」と、その掲示板「甲突川健康掲示板」からの転載である。一人でも多くの皆様方からのご意見をいただきたい。

政治健康。

社会の健康は政治の健康から。
選挙の健康は、国民の哲学の健康から。
哲学とは、納得できるまで考えること。
なぜ生きる、どう生きる、どう死ぬ、その後はどうなる、その後をどうする。未来のために何をすればよいか、何をしてはいけないか。
「政治健康。甲突川」で検索すると、「鹿児島市医報：学校保健の健康から人類の健康と永続を。」などがヒットする。
「社会病気。」で、「日本社会の病気の原因と治療。」などがヒットした。
「社会病気。甲突川」で、「koutukigawa, jp : 地球的調和時代を不戦の星の上に。」などがヒットする。

地球人哲学。

地球人とは何か。
地球人は責任生物である。
地球人が何を考え何をするかで未来が変わる。
地球人のみんなの生きる目標が「みんなの地球を、未来のために、よりよい星にしていくために」になっていけばよいのではなかろ

うか。人間社会自然地球宇宙の健康 調和永続のために。

「地球人哲学」で検索すると、「僕の責任、君の責任、みんなの責任、地球人の責任」などがヒットする。

「責任生物 甲突川」で、「鹿児島市医報：人類永続・生物永続の地球的調和づくり」などがヒットした。

甲突川健康宣言。

人の健康は心と体と気の調和。人間の健康は社会の健康、自然の健康すなわち地球の健康の中にある。

この地球を生物をはぐくむ星として永続させたい。この人類共通の願いの実現を目指しつつ、すべての国及び国民が共生していく道を求める、さらに、すべての動物や植物が共生する地球的調和時代を築いていく道を歩いていきたい。

甲突川の健康は流域の健康のシンボル。森の健康、川の健康、海の健康、水の飲める甲突川を後世に。共生、循環、永続を合言葉に平和で住みよい安定した流域社会づくりを続けていきたい。

甲突川が健康になれば、世界中の川が健康になり、地球の健康が実現していくことを期待したい。甲突川の健康から地球の健康を。

平成15年6月2日 甲突川の集い

甲突川健康むらまちづくり宣言

村や町は「いのち」の入れもの。むかしむかしあるところにあった村よりも、町よりも、もっと住みやすいこれからの地域社会を「むらまち」と呼びたい。

赤ちゃんからお年寄りまで、みんなの「い

のち」が輝く「むらまち」。人間・社会・自然が調和して、すべての生物の「いのち」が共生、循環、永続していく「むらまち」。

力を合わせて「むらまちづくり」を目指すことをここに宣言する。

2008 (平成20) 年9月15日

第4回 甲突川老後の安心の集い

東西統合医療ひとづくり宣言

人の健康は心と体と気の調和。人間の健康と社会の健康は相互依存的な関係にある。しかもその両者は自然の健康すなわち地球の健康に支えられなければ存在しえない。

現在の人間は百年後にはほぼ全員過去の人となる。明日の社会の健康を願っての「人づくり」が今日の社会の最も大切な仕事である。

医療の目的は現在および未来の人間の健康である。医療を職業とする医療人は今日の医療を行なながら明日の医療人づくりをしている。すべての医療機関は医療ひとづくり機構である、と言えよう。医療人が全人的調和の東洋医学的健康観を持つようになれば、医療ひとづくり機構が東西統合医療ひとづくり機構となり、人間、社会、自然が調和して、人類社会が健康に永続していくことが期待できるであろう。

「東西統合医療ひとづくり」から医療の健康を。医療の健康から人類の健康を。

平成20年2月21日 鹿児島漢方の集い

養生のすすめ。

一に養生、二に養生、三、四が医療で、五にまた養生。

養生で二十年、医療で十年、寿命を延ばして、生涯イキイキ天寿まで。

養生は、自分の体をよく知って、適度な運動腹八分、グッスリ眠って、スッキリ排便、サワヤカナ朝。家庭の健康、職場の健康を目指しつつ、自分の心を自分で知って、みんなの心と調和する。人の健康は、心と体と気の調和。

人間の健康は、社会の健康、自然の健康す

なわち地球の健康の中にある。

今日のイノチに感謝して、いつもニコニコ明日への希望。

訓和の幸せ。

争いに安心なし。勝利の喜びは永続しない。

調和の幸せは永遠である。勝利の喜び追わず、調和の幸せ求めたい。

おだやかな心で、なごやかな空気を。

なごやかな空気で、のどかな社会を。

われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが訓和し幸せに。

みんなの範囲をより広く。

世界のみんなが幸せ：世界平和。

地球の全生物が幸せ：地球調和。

宇宙の全星々が幸せ：宇宙令和。

調和の幸せを地域で、世界へ、未来へ。

地球的調和時代の実現永続を。人間社会自然地球宇宙の健康調和のために。

新元号初日 令和元年5月1日 渥流

哲学道場。

すべての健康は哲学の健康から、哲学内科の診療所は、哲学を健康にする、哲学道場でありたい。

哲学とは、よく考えること、なるほどそうだと自分を納得させるまで自分の頭で考えること。

なぜ生きる、どう生きる、どう死ぬ、その後はどうなる、その後をどうする、未来のために何をすればよいか、何をしてはいけないか。

哲学内科医は、哲学しながら祈願する、祈願医者でありたい。

あなたの健康と幸せを。医者は祈願する。

実践はご自分と皆々様。

世界中のみんなが幸せになるまでは、一人の幸せもない。

疫病コロナ後の新年度初日

令和4年4月1日 清流

人間教育。

欲と感情をコントロールできる理性を教え育まれて、人は人間になる。人間教育を受けなければ、人は、社会や自然と調和できる人間になれない。

地球人のみんなに「よい幼児教育」をするべきであろう。

宣言採択。

地球人教育宣言が6月5日の第3回鹿児島市中洲小学校区の集いで採択されました。初案を昨年6月、第2回の集いに提案し、皆様方からのご意見をいただきながら推敲を重ねてきました。甲突川健康掲示板に初案から第38案まで掲載してきました。ご指導ご協力ありがとうございました。この宣言の理想を実現していくために、これからも、よろしくお願ひいたします。

地球人教育宣言。

太陽の光を受けて輝く星、地球に生かされている地球人は責任生物である。地球人が何を考え何をするかで未来が変わる。

生老死奇跡幸運必然。生は奇跡、老いは幸運、死は必然。奇跡の生に感謝し、今に生かされている幸運を喜び、なお生かされる必然の死までの時間をどう生きるとよいであろうか。みんなの地球を、未来のために、よりよい星にしていくために生きるとよいであろう。

本能から欲と感情をコントロールできる理性を教え育まれて、人は社会・自然と調和できる人間になる。地球人のみんなに「よい幼児教育」をするとよいであろう。

克己利他誠実調和幸福永遠。われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。みんなの範囲をより広く。地球の全生物が幸せ地球調和。

修身齊家治国平天下地球調和。家族は調和合流永続家族でありますように。社会は地球調和社会でありますように。人間社会自然地球宇宙の健康調和永続のために。

地球人はみな宇宙の一点である地球に一生

生かされる。一人が一生生かされることで、みんなで無限の宇宙を永遠に生きていくことになるのではなかろうか。一点一生無限永遠。

令和4年6月5日

第3回 鹿児島市中洲小学校区の集い

地球人教育宣言（児童用）。

お日さまの光を受けて輝く星地球に生かされているわたしたち地球人は、地球に対して責任がある生き物です。地球人が何を考えて何をするかで地球の未来が変わります。生まれるということは奇跡的で不思議なものです。年を重ねるということは幸せで嬉しいものです。

そして、死はみんなに必ず訪れます。奇跡の命の誕生に感謝し、今地球に生かされている幸せを喜び、いつか訪れる命の終わりまでの時間をどのように生きるとよいのでしょうか。みんなの地球を、未来のために、よりよい星にすることを目標として生きるとよいのではないでしょうか。

自分の中から込み上げてくる気持ちや思いを落ち着かせることができる正しく強い心を教えて育ててもらうことで社会や自然と仲良くできる人間になります。まだ幼い地球人のみんなには、優しく楽しく学ぶことを教え育てるといいでしょう。

自分にはきびしく、まわりの人にやさしく、心を開いてみんなで仲良く幸せになります。みんなの輪をもっと大きく広げて地球の全ての生き物が仲良く幸せでありますように願いましょう。

正しいことを行い、仲のよい家庭を築いて、社会のためになることをしましょう。そうすることで、地球は争いのない平和な世界になるでしょう。家族がいつまでも仲良く穏やかな時間を過ごせる場所でありますように。社会が地球のためにまとまった社会でありますように。人も、社会も、自然も、地球や宇宙といっしょにみんな元気で穏やかな時間が永遠に続いていきますようにそう願いましょう。

わたしたち地球人は、みんな地球のどこかに立っていて、地球に一生生かされています。一人が一生生かされることで、みんなで限りのない宇宙に永遠に生きていくことになるのではないでしょうか。

令和4年6月5日

第3回 鹿児島市中洲小学校区の集い

一点永遠。

太古の昔から母親まで流れてきた「いのち」に父親まで流れてきた「いのち」が合流してご自身の「いのち」になっています。

連れ合いまで流れてきた「いのち」と合流すれば子どもの「いのち」となり、未来へと流れていくことになるでしょう。

自分に子どもがいなくても、無限の宇宙の中の一点に太陽の光を受けて輝いている星、地球に一生生かされることで、みんなで、無限の宇宙に永遠に生きていくことになるのではないかでしょうか。

一点一生無限永遠。

「一点永遠・納利一」「一点一生無限永遠。」で検索すると、「我は天年宇宙は無限。」などがヒットする。

地球人の責任。

戦争予防は地球人の責任。

地球人が戦争すれば、地球が、すべての動物や植物が住めない星になっていくのではないかろうか。

地球人は責任生物である。みんなの地球を、未来のため、よりよい星にしていくために。

戦争予防。

第三次世界大戦を予防して、地球調和を実現させるには、どう考え、どうしていけばよいであろうか。

参考文献：第三次世界大戦はもう始まっている エマニュエル・トッド著 大野舞訳 文春新書 2022年6月20日 第1刷発行。

「戦争予防。甲突川」で検索すると、「わ

れにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。」、「病気は予防甲突川。」などがヒットする。

「戦争予防。納利一」で、「鹿児島城西口ータリークラブ。」、「公益社団法人生命科学振興会。」、「元法務大臣 保岡興治の過去のブログの第7回鹿児島漢方の集い。」などがヒットした。

薩摩地球人教育。

薩摩教育を鹿児島の今に生かして、世界へ未来へ。

みんなの地球を、未来のために、よりよい星に。

家族は調和合流永続家族でありますように。

社会は地球調和社会でありますように。人間社会自然地球宇宙の健康調和永続のために。

「薩摩地球人教育。」で検索すると、「薩摩の郷中教育。」、「鹿児島城西口ータリークラブ。」などがヒットする。

「薩摩地球人教育。甲突川」で、「世界中の子どもたちに言葉と哲学の教育を。」、「鹿児島市医報：学校保健の健康から人類の健康と永続を。」、「中洲校区コミュニティプラン。」などがヒットした。

「薩摩地球人教育。納利一」で、「地球的調和時代は世界的江戸時代から。」、「甲突川健康新聞。」、「僕の責任、君の責任、みんなの責任、地球人の責任。」などがヒットする。

薩摩教育基金。

中洲校区の健康から地球人社会の健康を。

甲突川の健康から地球の健康を。地球調和の実現永続のために。

薩摩教育基金にご寄付いただける方は中洲校区コミュニティ協議会の事務局 中洲校区公民館 (TEL・FAX 099-204-7680) にご連絡ください。

力ネも出すが、口も出す。ご意見もお出し頂きますようお願いいたします。